

黒門 小地区

コミュニティ委員会

2019年はラグビーワールドカップ、2020年はオリンピック・パラリンピックと大きな大会が日本で開催されており、世界中から注目されており、日本の国民もスポーツに対して非常に関心を寄せております。

これらの大会はすべて「スポーツを通じて平和な社会を推進する」という理念の基に行われております。黒門小地区コミュニティ委員会ではテニス、バドミントン、ビーチバレー、剣道などのスポーツが行われており、私たちの活動もこの様にありたいと願っております。

運営委員長 田嶋 章好



テニスの練習風景



オリンピックのジュニアコミュニティ

オリンピックが東京で行われる事は平成25年に決定しましたが、時間が経つのは早いもので開催まで後1年という時期に差し迫りました。

私が所属している当委員会のチームは

MFという名前で、地域の活性化に微力ながら協力させて頂いております。

スポーツとしては週末にテニスを開催しており、チームメイトと切磋琢磨しております。

東京オリンピックでは、大会のビジョンとして『スポーツには世界と未来を変える力がある。』3つの基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」、「多様性と調和」、「未来への継承」と掲げています。自分のチームと理念が似ておりまして、このコンセプト毎に紹介させて頂きま

す。「全員が自己ベスト」…オリンピックの理念としては、「万全の準備と運営によって、安全・安心で、すべてのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮し、自己ベストを記録出来る大会を実現。」と掲げています。

当委員会としては、2年程かかった改修工事の終わった黒門小学校が、歴史ある外観はそのままに、耐震性が向上して体育館と校庭が綺麗になり、都内で最高の環境でスポーツをさせて頂いていると感じます。

また、そこで仲良くなった方々と、地域活性化をおもてなしの気持ちを持って手伝わさせて頂く事は貴重な体験です。

「多様性と調和」…「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障がいの有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで社会は進歩。」と掲げています。

当チーム内でも、色々な環境で育ち、職業も違う多種多様な方々が、とても仲良く活動しています。会社を経営している方、大手法人企業で部長をされている方、ゲームを製作されている方、大学院生やフィリピンと日本を頻りに移動されている方など、家と会社の往復だけでは出会えない方々と接点を持つことができている。また、お互いに良く認め合う方々が多いため、上手く共生社会を育ん

でおります。

「未来への継承」…「成熟国家となった日本が、今度は世界にポジティブな変革を促し、それらをシガシーとして未来へ継承していく。」と掲げています。

こちらの概念が当委員会でも特に力を入れていたのではないかと思います。現状が良かったとしても、若い世代が継承していかなければ栄枯盛衰になってしまいます。そのため、我がチームに入りたいと希望される方がいらっしゃれば是非お待ちしております。

以上、オリンピックと関連した我がチームのビジョンを紹介させて頂きました。

黒門MF 山本 宣利



楽しい反省会



谷中

コミュニティ委員会

谷中コミュニティ委員会では、5月にコミュニティ祭り、6月に七夕交流会、7月にはファミリーコンサート、9月は敬老のつどい、10月はスポーツイベント、11月は防災かえっ子、2月にはビーチボール大会など、ほぼ毎月イベントを行っております。運営委員の若返りを図りながら少数精鋭で運営しており、施設の利用団体とも協力しながらコミュニティの輪を広げております。

会長および運営委員長が今年度一新したので、活動に一部不足も生じましたが、参加者からフォローしていただき、地域のコミュニティ委員会として一層成長していきたいと考えております。

敬老のつどいでは、児童館の協力で子供達のダンス披露や地元団塊の世代によるバンド演奏、高齢者による踊りや歌の披露で盛り上がり、最後はピンゴ大会で幕を閉じます。

防災かえっ子では児童館の協力と上野中学校生徒ボランティアの協力で不要なおもちゃの交換会や段ボールオーブンによるピザ作りなどサイババルにも役立つイベントとなりました。

他にもご紹介しきれない活動を行っております当委員会にご期待ください。

運営委員長 原田 仁教

2020年東京オリンピックで男女共にメダルラッシュが期待できる日本バドミントン！

谷中バドミントンクラブも未来のメダリストを目指して頑張っている子供から、楽しくバドミントンをやりたい！と言う大人まで、「小学生から80代まで」の男女が毎週水曜日に谷中中学校体育館で楽しくバドミントンをしております。

経験者の方だけでなく、やってみたい！と思っている方も、是非一度、見学だけでもいらしてみませんか？

きっと、2020年の夏、日本バドミントンのメダル獲得の瞬間、違った思いが込み上げる瞬間違いございません。

詳しくはホームページにてご確認ください。

「谷中バドミントン」で検索
<https://yanaka-badminton.webnode.jp/>



コミュニティ祭りでは上野中学校生徒のボランティアが参加、高齢者と子供達のサポートに走り回っていただきました。



1000人以上の来場者で賑わいました。ポニーも大人気！



毎年恒例のコミュニティ祭り前夜に行われる灯笼作品展には、800人以上が訪れました。

